

令和4年度愛知県循環器病対策推進協議会議事要約

【日時】 2023年2月6日（月） 午後2時から午後3時まで
（オンライン開催）

【委員】 出席 14名、欠席2名

【職員】 健康対策課8名、庁内関係課7名

【傍聴者】 1名

【内容】

- 1 挨拶（愛知県保健医療局健康医務部 健康対策課長 古川大祐）
 - ・議題は、「愛知県循環器病対策推進計画の推進について」である。
 - ・「愛知県循環器病対策推進計画」に基づき、循環器病対策の取組を進めている。循環器病に関する普及啓発のため、新たな取組の一つとしてリーフレットを作成した。
 - ・来年度も現行の計画に基づき、取組を進めていき、同時に次期計画の策定も行うこととなる。次期計画の作成に関連し、国に動きがあるので議事の中で情報提供する。

2 議題

- (1) 愛知県循環器病対策推進計画の推進について（資料1～4）
- (2) 今後のスケジュールについて（資料5）

3 その他

国の「循環器病対策推進基本計画（案）」に係るご意見の募集について（情報提供）

<主な意見>

- 特定健診で、受診率のデータが2020年度は56%で変わっていないように見えるが、コロナの直前のデータなので、コロナ禍で相当特定健診の受診率が落ちていると思う。この2020年度のデータのまま解析を続けるということではよいか。
- 外来の心血管リハビリテーションの実施率が低下しているのは明らかにコ

ロナが影響し、下がって当然である。【全体目標】の指標に関する 2021 年、2022 年のデータはないか。

- 資料 4 の計画策定時と 2023 年 2 月 1 日時点の数値に、全国における愛知県の順位を入れるとよい。
- 資料 1 の「食生活改善のため飲食提供施設の事業者等と連携した食環境整備を推進」について、行政が立ち入ることは非常に重要。マスコミを通して、例えば食育推進協力店に登録しているレストランを選びましょうなど、そういう啓発はされているか。
- 実際に愛知県のホームページを見ても、自分が行きたいレストランが食育推進協力店なのかが分かりにくい。
- 同じような取組を名古屋市も行っていると思うが、愛知県のホームページでは名古屋市内の店を検索できない。愛知県と名古屋市が別々に協力店を掲載していることについて、改善をお願いしたい。
- リーフレットの最後のページの脳卒中や心血管疾患の説明部分の字が余りにも小さいので、リーフレットを A4 サイズにするなど、もう少し大きいサイズにできるとよい。
- リーフレットに関して、心血管疾患の中に心房細動の記載があるが、脳卒中側の原因としても心房細動は非常に重要で、脳梗塞の 3 分の 1 は心原性の脳塞栓症で、高齢者ではさらに心房細動の比率が高い。脳卒中のページにも脳梗塞の原因として心房細動があることを入れるべきではないか。
- 資料 1 について、最近デジタル処方箋が可能になってきており、その対応をされている薬局、薬剤調剤薬局、病院を対象に、デジタル処方箋に関する研修や推進の予定はあるか。
- 資料 2 の「循環器病に関する働く世代向けの出前講座」は非常に重要である。今回愛知銀行を対象に実施するということだが、銀行だけでなく生命保険会社はどうか。生命保険会社は疾患予防という意味で我々の目的と共通する。働く人へ向けて発信することは非常に重要である。